

仲間の成果から学ぶ

佐藤渡辺

佐藤渡辺は11月28日、東京都港区の本社で第37回業務改善発表会を開いた。全国から選抜された1



CTや製品など12テーマの業務改善事例が発表された。鎌田修治社長は講評で「いずれの発表も改善効果の数値化をはじめ、年々プレゼンテーション力が向上している。今後のテーマとして、脱炭素社会に向けた取り組みや舗装の新技术・新材料、熱中症対策なども考えられる。仲間の成果から学び、佐藤渡辺としての技術力、提案力を磨く場として発表会を活用してほしい」と呼び掛けた。写真。

審査の結果、社長賞には工事本部の桐原あゆみ氏の「デジタルブレイン構想始動〜with AI時代を迎えて〜」が輝いた。優良賞は関東支店の森勇樹氏の「MG（マシンガイダンス）バックホウの利点と課題」、営業本部の福元崇氏の「ウッドクリート広葉樹仕様の開発と営業展開」、中日本支店の石金克氏の「基本に立ち返る現場管理R6六家電線共同溝その2工事の事例」がそれぞれ選ばれた。

